

花き試験場はこのほ
ど、小学生から80代ま
での7人が参加して、
ほ場見学会と青空ミニ
セミナーを同所で開い
た。

広さ約10畝のほ場の
一部を、畑作部長の矢
ヶ崎和弘さんの案内で
の収穫体験もした。



「実の詰まったトウモロコシを
選んで収穫して」と説明する矢
ヶ崎畑作部長(左)と参加者

東京のNPOがこどもキャンプ

王滝村

山村留学の再開願

NPO法人ガイア・イニシアティブ(東京都港区)の学生メンバ
ーでつくるガイアユースは19-22日、初の「王滝村こどもキャンプ」
を開いた。今春から山村留学を休止している同村の山村留学組織「企
業組合子ども森」の後援のもと、山村留学の再開へつなげる考え
だ。

(田澤佳子)



高尾さん(中央の黄色いシャツ)
や子どもらに植物の見分け方を
説明する小谷さん(左)

同NPOは同村とバ
ートナー協定を結び、
2008年から「+
王滝村を「+1(プラ
スワン)の森」第1号
を始め、間伐作業や、
として村有林の森林
山村に関心を持つ都市
プは12回目のツアーで

NPO法人ガイ
ア・イニシアティ
ブ「元テレビキャ
スターで三洋電気
代表取締役会長を
務めた野中ともよ
代表理事が200
7年に設立。地球
といのちのため
に、まずは「ひと
つ」何かできるこ
とを」と「+1(プ
ラスワン)を合言
葉に、インドでの
ソーラーランタン
プロジェクトなど
の活動をしている。

もめる。ユースは同N
POの学生組織で、東
京大学大学院生の高尾
康太さん(23)を代表
に、約10人の学生メン
バーを中心に活動して
いる。こどもキャンプ
のきっかけは、同ツア
ーのコーディネートを
している高尾さんが昨
年冬に子どもの森のキ
ャンプを手伝ったこ
と。自身も地元島根県
で、自然体験教育で育
ったという高尾さん
は、王滝村での山村留
学の休止を惜しみ、子
どもの森の例年の短期
キャンプに代わるもの
を、と企画した。

小学5年から中学生
までの募集に東京都武
蔵野市などから5人の
子どもが応募、10人の
学生スタッフがボラン
ティア参加した。子ど
もたちは、1日目は村
内の家庭でホームステ
イ、2日目は薬草の専
門家でNPO法人自然
科学研究所理事長の小
谷宗司さん(王滝村)
を迎え、同村滝越地区
で植物採集をした。そ
の場での山菜の味見や
薬草の観察などの後、
本格的な押し葉標本作
りに挑戦した。

高尾さんは「初回で
面白さを分かっていたほし
いと、NHK「大科学
実験」などで活躍して
いるNPOガリレオ工
房が講座を担当した。
「映像を交えた大科
学実験ショー」は小学
生人数となったが始め
たことが大事。毎年続
け、山村留学の再開に
つなげていきたい」と
話す。

知的障害者グループホ
ームを運営している
「春の小川」の西牧千
恵子理事長へ全自動洗
濯機を寄贈した。
国際ソロプチミスト
塩尻は、東日本大震災
被災地の高校生へ奨学
金、地震被災地の栄村
へ支援金を送ってお
り、塩尻市内の障害者
施設への支援などもし
ている。春の小川へは
初の支援だ。
西牧理事長は「入所
者は9人。洗濯機の消
耗が激しく、このよう
な支援はありがたい
し、勇気づけられる。
何よりも小規模グル
ープホームを知ってもら
うことがうれしい」と
話している。

とど
ながら耳を傾
けていた。

えんばーく
塩尻市の市民交流セ
ンターえんばーく総務



たてを倒す
験に、子ども
ちは驚き顔で列

女性と女兒の生活向
上を願う奉仕団体「国
際ソロプチミスト塩
尻」(宮坂玲子会長、
25人)は22日、塩尻市
内の例会で、同市で

「春の小川」へ
洗濯機を寄贈
ソロプチミスト塩尻

「映像を交えた大科
学実験ショー」は小学
生人数となったが始め
たことが大事。毎年続
け、山村留学の再開に
つなげていきたい」と
話す。

~ショパン・グレイテスト・ヒッツ~
クシチュトフ・ヤブウォンスキ
ピアノリサイタル
第11回ショパン国際ピアノコンクール
第2位(42歳)受賞 同村出身の音楽家

MCS連盟認定。全国500店のチェーン化に。
トラブル肌専門ク
MCS連盟では最先端技術を導入し独自の方法で解消しています。料金も大変明
シミ・老斑・ホクロ・イボ
1ヶ所 ¥2,000